

健康増進のための温水プール等新設を求める請願書

令和4年2月18日

志摩市議会議長

金子研世様

紹介議員

氏名 中村孝司



請願者

住所 志摩市磯部町穴川 1182 番地 30

温水プール存続を求める会

氏名 代表 助田恵哉



住所 志摩市磯部町五知 164 番地

氏名 大杉正也



1. 請願の趣旨

健康寿命の延伸、健康維持のためにプール内で身体を動かすことは、水特有の観点からも有効とされています。志摩市民の健康増進を図る上でも、通年で利用できる温水プール等の新設を志摩市に求めるものです。

2. 請願の理由

志摩市阿児健康増進センターの通年利用できる温水プールは、平成9年の開館から24年にわたり志摩市民や近隣市町の住民、多くの老若男女から運動やコミュニティー施設として愛され、親しまれてきました。

そして、プールでの運動は体力増進、健康維持、介護予防、ストレス解消、会員同士のコミュニケーションに大きく役立っています。また志摩市の健康寿命は、三重県内では低い水準にありますが、将来を見据えると志摩市民の健康寿命の延伸、健康と福祉の向上等、数えきれない効果があります。更には健康保険や介護保険等の経費削減といった波及効果は計り知れないものがあると考えます。

志摩市内では設備面と利用形態を考えた場合、志摩市阿児健康増進センターの温水プールは唯一の通年利用できる施設です。乳幼児から高齢者に至るまでの幅広い志摩市民が利用し、様々な運動プログラムが準備されている、このような施設は他に類がありません。

また志摩市阿児健康増進センターの温水プールの存続を求める8,000筆以上の署名者の声を志摩市長に届けましたが、令和3年11月20日から閉鎖、令和4年度に解体されることになり、非常に残念でなりません。

志摩市の将来を担う子ども達の中には、オリンピックを目指して水泳競技に邁進している子どもや、情操を豊かに育てていく時期の子ども達も多く利用しています。また大人に至っては体力増進、健康維持に取り組んでいます。

以上のような理由、そして志摩市の将来のためにも、安心して安全な場所での通年利用できる温水プール等の新設を強く切望するものです。